

第26回三木山フォルクローレ音楽祭 出演グループ紹介

<音楽ホール>

① ロス ミントス (神戸市)

ケーナ教室の生徒で編成しているグループで、結成して約15年になります。結成当時のメンバーの思いを継いで、毎年の三木山音楽祭を目指して厳しくも楽しい練習をしています。教室では講師の松岡一美先生からフォルクローレに必須の、きれいな音色、正しいリズムを厳しく教授されています。これらはもちろん一朝一夕に成るものではありませんが、練習そのものが楽しくもあります。各種発表会などにも積極的に参加してフォルクローレを堪能しているところです。今日は晴れの三木山フォルクローレ音楽祭、思う存分に楽しみたいと思っています。

② ラプラ (寝屋川市)

私たちは月に一度、寝屋川市に集まって楽しく練習を重ねているグループです。一曲目のアナノウでは初めてボーカルにチャレンジしました。しかもケチュア語です。さらにインディアンフルートやケーナの横笛バージョンであるピファノといった珍しい楽器にもチャレンジしていますので、そのあたりも注目して演奏を楽しんでもらえたら、と思います。

③ エル ティエンポ (加古郡)

グループを結成して、はや6年になりました。しかしその間、半分以上が新型コロナやメンバーの病氣入院などで、満足な活動はできませんでした。ここにきて、やっと三木山に出演できるようになり、大変うれしく思っています。今回は新メンバーも一人加わり、より良い演奏ができるように頑張っています。

④ ラス アラス (京都市)

こんにちは。大阪からやってきたラス アラスです。インティ工房の近藤教室に集まった仲間と結成されたグループです。久しぶりの三木山での演奏、嬉しさと緊張が入り混じっていますが、ラス アラスのモットー「いつでも楽しく演奏」を心がけて、演奏したいと思います。

⑤ ポコ ア ポコ (宝塚市)

私たち、ポコ ア ポコは宝塚市のケーナ教室で、プロの先生にご指導いただいている、ケーナ好きの仲間です。月一回の教室と自主練習で、積極的にケーナとふれあい、ケーナ教室発表会、ボランティア演奏の活動をしています。

⑥ AIYU(あいゆ) (寝屋川市)

寝屋川アンディーナのロベちゃん教室で結成されたグループです。月に一度、名古屋、加古川、京都からロベちゃん教室に集まって、楽しく練習をしています。久しぶりの三木山のステージ、みんなで楽しく演奏したいと思います。

⑦ エスペランサ (加古郡)

私たちエスペランサはおかげさまで、今年、25歳になりました。第一回三木山フォルクローレ音楽祭を見て、やってみたいと思い、第二回目からは連続出演、三木山フォルクローレ音楽祭とともに育っているグループです。25周年記念コンサートを計画していますので、皆さま、応援をよろしくお願ひします。

⑧ ビルヘネス デ ラ ルナ (岡山市)

お隣の岡山県から来ました。チリの曲を2曲演奏します。1曲目はチリの北部ティラーナのお祭りの歌で、聖母様を讃えて歌われます。2曲目は同じチリでも首都サンティアゴから3,700kmの大西洋に浮かぶ孤島、ラパヌイ(イースター島)の歌です。「むか〜しむかし、大きすぎて動かせなんだモアイがこの歌を聞いて歩き出したそうじゃ・・・」

9 もりもり組（草津市）

名古屋大学フォルクローレ同好会のOB・OGによるグループです。リーダーのモーリスを中心に落ち着いた曲を中心に演奏します。演奏曲目は「ラ ペレグリナシオン」「ソル ナシエンテ」

10 ポルベニール（香川県）

アルゼンチンのフォルクローレが好きで演奏しています。今日の2曲はサンバとチャマメです。チャマメの「ミシオネロ・イ・グアラニ」は、その土地に生まれ、その種族であることを誇りをもって叫びたいと歌っています。

11 WAIRA(わいら)（大阪市）

WAIRA の名で歌って、43年になります。ボリビアのスクレ市で約2年間暮らしました。その経験の中で見たこと、感じたこと、学んだことが、今の自分を作ってくれたのだと思います。コロナ禍により、ボリビアに帰ることは厳しくなりました。当時一緒にいた人達、特にスクレの女性教員・女性警察官・バレーボール仲間・親切なおばさん達の気持ちを忘れず、これからも歌っていきたいと思っています。

12 ソル デ ラス インディアス（西宮市）

ボリビアダンスグループ、三木山のひまわり！ソル・デ・ラス・インディアスです。今年は皆さんも大好きなティンクを元気いっぱい踊ります。かわいい助っ人たちも応援してくれると思います。お楽しみに・・・！

13 ロス カルピンチョス（横浜市）

SNS で知り合った音楽仲間が、年に一度、三木山に集まり演奏します。今年も北は北海道、南は石垣島から18名の仲間が集まりました。グループ結成から11年たち、メンバーの高齢化が進みました。このため感染リスクを下げるために、例年の半分以下の人数にしました。ハナミズキ、プエラティはロス カルピンチョスが結成した11年前に、初めて三木山で演奏した曲です。はたして、どのくらい上達したのか、もしかしたら下手になっているかも。楽しんで演奏させていただきます。

14 マイピパス（名古屋市）

“マイピパス”とはケチュア語で「どこでも」という意味です。私たちは「どこでも」演奏を楽しみ「どこでも」皆さんに気軽にフォルクローレを楽しんでもらいたい気持ちを込めています。

名古屋市や刈谷市を中心にフォルクローレ演奏を通じて、自分たちも楽しみながら演奏活動をしています。今年も全国様々なところへ行って、演奏はもちろん、観光も楽しみたいと思っています。

15 マヤウァカ（和歌山市）

和歌山のフォルクローレグループ、マヤウァカです。地元の公民館で月二回の練習を始めて28年目をむかえます。メンバーも年齢を重ねてきていますが、頑張っ演奏させていただきます。

16 ティオティア（福知山市）

丹波市、福知山市を中心に活動するグループです。ケーナ教室から出発して約10年、楽しく演奏することをモットーとして、フォルクローレの仲間を増やしていきたいと思っています。

17 萩原 利昭（岡山県）

岡山県のフォルクローレグループで、コンフントアンデスを代表してやってきました。チャランゴの2曲を演奏します。曲目は「通りすがりの雲」「木の下で鳥たちと歌うポルカ」

18 ロス トマテス（高知市）

高知県から来ました。結成して15年ほどになります。県内ではコツコツと演奏活動を続けていますが、県外で演奏することはほとんどなく、三木山は貴重な機会なので、毎年、参加させてもらっています。NHKで放映中の朝ドラ「まんてん」の舞台が高知なので、イベントも多く開催され、今年は

演奏機会も増えそうです。

19 トロス フンドス (丹波市)

ケーナ教室の生徒で昨年12月にチームを作りました。名前の「トロス フンドス」とは、みんな一緒という意味です。平均年齢は約65歳と少し高めですが、丹波の山々にケーナの音色をこだまさせながら、演奏を楽しんでいます。今日は私たちのグループと同じ「トロス フンドス」という曲を演奏させていただきます。ポリビアの民謡ですが、45年前に加藤登紀子さんが詩をつけて歌っています。ご存じの方は歌ってください。

20 まほろばビエントス (奈良県)

私達「まほろばビエントス」は素敵なメンバーと出会い、昨年、結成しました。指導者のロベルトゴンサ先生のもと、大阪の寝屋川市で活動をしています。まだまだ舞台に慣れていなくて緊張感いっぱい私達。指導者のロベルトゴンサ先生、今日は一緒に舞台に立っていただいて有難うございます。みんなで楽しみたいと思います。よろしくお願いします。

21 ティエラ ブランカ名古屋 (名古屋市)

皆さん、こんにちは。名古屋からやってきましたティエラ ブランカ名古屋です。4年ぶりに三木山のステージに立つことができ、嬉しい限りです。短い時間ですが、4年分の思いを乗せて演奏したいと思います。これからも聴く人の心に何かを届けられるよう、年に負けずに頑張っていきます！

22 タワ ワ (愛知県)

愛知県から参加します「TAWA-WA」と申します。4人から結成したことから、グループ名の「TAWA-WA」はケチュア語の数字の「4」を表す「TAWA」と、日本語の「和」を合わせて名付けました。「WA」は平和の和、心の和を表し「メンバーの大切に楽しく演奏しよう！」という思いを込めました。自分たちもそしてお客様にも楽しんでいただける演奏を目指しています。音の和を紡ぐと共に、人の和を紡ぐフォルクローレに出会えて幸せです。

23 ロス 半仁門ズ (東京都)

コロナ禍ぶりに参加します。サンポーニャ、ギター、パーカッション類、全ての楽器を一人で同時に演奏するワンマンバンドスタイルで、活動しています。今日は、リズム形式カルナバルで3曲のメドレーとオリジナルのアル・デ・ディアプラダの曲を演奏します。コロナ禍の間に子供が二人生まれました。今日は家族で来ているはずです。

24 本山第四住宅 (神戸市)

本山第4住宅(神戸市東灘区)の集会所で音楽会を始めて、10ウン年、月に一度、お年寄りの方々と懐メロを楽しく歌っています。演奏曲目は「我が歌は民衆の声」「この手に大地を」

25 月と太陽 (滋賀県)

ピアノとボーカルをメインとしたラテン&フォルクローレユニットです。長いブランクを経て、活動を再開しました。新たな気持ちで、日々、練習しています。

26 ケナケナ (河内長野市)

グループ名は、ケーナ2本で演奏しているので「ケナケナ」です。ケーナ2本で、いろいろなジャンルの曲を吹いています。演奏曲目は「シチリアーナ」「アンデスの風になりたい」

27 ツーインズ (生駒市)

大阪天満のフォルクローレ楽器店「コチャッパンバ」の教室で練習している仲間です。結成から約一年半。練習後の「反省会」と称する「集い」を楽しみにしています。

28 シエロ ママチャ (茨木市)

グループ名は「空のように大きな心のおばさん」です。今年も三木山フォルクローレ音楽祭に出演かない、とても嬉しく思っています。三木山出演目標が、私たちの元気の素です。ありがとうございます

ます。

29 グループ ゆい（神戸市）

阪神淡路大震災の年に結成した、今年で28年のファミリーバンド。昨年はリーダーの松岡尚志が長い闘病の末、亡くなりましたが、残ったメンバーでこれからも演奏を続けていこうと頑張っています。応援、よろしくお願い致します！！

30 リトモ（西宮市）

昨年8月に結成して以来、人前で演奏するのは今回で2回目の新しいグループです。平均年齢75歳のオールドグループですが、音楽を楽しんでいます。

31 Kindy(きんてい)（尼崎市）

こんにちは。エクアドル民族舞踊グループのKindyです。昨年に引き続き、三木山のステージに立てることがとても嬉しいですね♪今年もフルメンバーではないですが、Kindyのダンスを通してエクアドルの魅力を伝えられるよう、笑顔で楽しく踊ります♪

32 ムトゥア（神戸市）

KCC 新長田教室から10年近く続くグループです。落ち着いたテンポの曲を多く演奏してきましたが、自らの殻を破るべく、今回、テンポの速いリズムカルな曲に挑戦します。苦手意識を吹き飛ばして楽しく演奏したいと思います。

33 グループ ウヌ（茨木市）

ケーナ教室の生徒が集まって結成したグループは、22年目になりました。三木山は4年ぶりですが、「皆さんが楽しめる」演奏をしたいと思います。演奏は「フェスタ カンデラリア」「セリア」

34 イノセントス（堺市）

この二人で三木山音楽祭への出演は、今年で9回目となります。ケーナとギターというシンプルな構成で、フォルクローレ音楽の魅力を表現したいと願っています。

35 やまみ（明石市）

いつもは横浜のメンバーと出演しておりましたが、今日は出演できず、明石在住の私たち夫婦で演奏させていただきます。「やまみ」としては初めての三木山です。とても楽しみです。

36 ロス ガランドス（神戸市）

我々ロス ガランドスは、阪神淡路大震災後すぐ神戸市垂水区にある伽藍洞で結成されたグループです。去年、松岡尚志先生を亡くしましたが・・・第一回目から連続出演している経歴を絶えさせぬように、今年もやってきました。

<エントランス広場会場>

6 ドス パロミタス（高槻市）

私達の先生であるフローレス デュにご指導をいただいて、コロナ禍2年前から一緒に始めました。今回は教室の発表会以外の場所での初演奏です。

8 村上 良卓（高砂市）

ケーナ歴30年。三木山での演奏は久しぶりです。ケーナ1本で披露させていただきます。

9 しげきいら（神戸市）

70年代フォークが好きで、かぐや姫などをカバーしていました。良いなと思った唄は弾き語りをしています。

11 新井 賢太郎 (東京都)

はじめまして。東京から来ました。フォルクレーレギターをアタウルパ・コパンキの唯一の弟子、ソッコマージュ先生に10年間、習ってきました。現在はフォルクレーレギターを木下尊惇先生、クラシックギターをレオナルド・ブラーボ先生に習っています。

19 ハナフ パチャ (滋賀県)

大阪、茨木で練習しているグループです。今年で9年になりますが、メンバーがかなり入れ替わっています。我々はUチューブなどで、新しいフォルクローレの曲を探し、楽譜に起こして演奏しており、他のグループではあまりやらない曲を中心に演奏しています。

20 プランス シパン (加古川市)

笛とボンボの同時演奏です。同時演奏できるシステムを作り、ひとりで、フォルクローレを楽しんで遊んでいます。演奏曲目は「ヒルゲーロ フローレス」「エル ミネーロ」

21 オサケーニョス (堺市)

オサケーニョスはお酒を愛する大阪の人たちという意味です。今年で遂に結成20年を迎えました。最初は男3人のグループでしたが、結成5年目から華やかな女性メンバーたちも加わって、楽しく南米の国々の曲を演奏しています。せつなくも、なぜか楽しい音楽をお届けしていきたいです。

No.37 三木山スペシャルユニット プロフィール



Jaime Gramal(ハイメ グラマル) ケーナ・サンボーニャ

エクアドル、オタバロ出身。エクアドル先住民の血と精神を受け継ぎ、伝統音楽に囲まれ育つ。幼少の頃からエクアドル最高峰と称されるグループ(ニャンダマニャチ)に音楽を学び、共にステージに立つメンバーの一員でもある。各国での演奏活動を経て、ケーナ、サンボーニャなどの管楽器を得意とし、弦楽器や打楽器もこなすマルチな才能を持つアーティスト。伸びのある歌声と彼が奏でる音楽は、彼の人柄のように素直で優しく、且つ力強い。オリジナル曲は、先祖の持つ力強さや精神を音に乗せ、さらに彼独自のエッセンスを加え表現している。



勝野 勉(かつの つとむ) ケーナ・サンボーニャ [from Albol y Viento]

大学よりアンデス音楽と出会い、ケーナ、サンボーニャの演奏活動を開始。2007年に南米ボリビアへ渡航し、ケーナをロランド・エンシーナスに師事すると共に、彼が主宰する現地の楽団「ムシカ・デ・マエストロス」に参加し演奏活動を行う。他にサンボーニャをカルロス・ボンセに師事した。帰国後は自身のグループを作り、京阪神を中心に活動、ほかにフォルクローレグループ「MAYA」のサポート演奏を行った。楽器のもつ響きに重きを置き、芯のある音色には定評がある。ケーナ・サンボーニャの魅力を一人数でも多くの人に伝えるべく、物静かな外見の中に熱い闘志をたぎらせて、今日も笛を吹き続ける。2020年にはギタリスト正木良久とアンデスをベースとした他ジャンル融合の新ユニット「Albol y Viento(アルボリエント)」を結成。また「勝野勉のやさしい風笛」でYouTubeチャンネルも開設し演奏動画などを公開中。ケーナ・サンボーニャのレッスン活動も行っている。HP:www.kattsun-quena.com/



安達満里子(あだち まりこ) チャランゴ

9歳よりチャランゴを弾き始め、2006年にボリビア音楽留学へ。アレハンドロ・カマラ氏、レネ・アリーナス氏、サウル・カジェーハス氏など著名なチャランゴ奏者に師事し研鑽を積む。ボリビア滞在中はロランド・エンシーナス氏率いる「Musica de Maestros」に在籍、彼らのアルバム録音にも参加した。同年コチャバンバで行われた「アイキレ・チャランゴフェスティバル」国際部門にて優勝を果たす。現在は「グルーポ・ゆい」[Esencia]で演奏活動を行うほか、ボリビア民族舞踏グループ「ソル・デ・ラス・インディアス」も主宰している。



近藤 真人(こんどう まさと) ギター

大阪府豊中市出身。中学生のころにラジオで聴いたケーナの音に感動し南米の音楽に傾倒し独学で演奏を始める。特に複雑でバリエーション豊かなギターのリズムに魅入られ日々研究の毎日を送っている。弦楽器はギター、チャランゴ、マンドリン、クアトロ、管楽器もケーナ、サンボーニャを操るマルチプレイヤー。関西各地でのレッスンも行い、後進の指導にも力を入れる。大阪府吹田市にて民族楽器専門の修理工房「インティ工房」を営む。